

# 市民の声・まちづくりのニュース

第11号

2018年9月23日

日本共産党根室委員会

宝林町4-203

電話 23-6023

FAX 24-1684

## 大津波・豪雨などの大災害と国のあり方を考える

今年も日本列島は、「想定外」といわれる大災害が相次いで発生しています。災害にみまわれた地域の人たちの生業（なりわい）の再建、そして何よりも日常のくらしを取り戻すことの困難さは、筆舌に尽くしがたいものがあります。今後とも何処で何が起ころかわからない大災害を考えた時、そもそも「国のあり方」がこのままでいいのか、つくづく実感させられる今日この頃です。少し書き添えてみました。

### 発生確率0%で大地震

9月6日午前3時過、最大深度7という北海道胆振東部地震が発生。道が16日現在まとめた被害状況の集計によると、死者41名、重傷者10名、建物被害はいまも確認中ですが、住宅被害は全壊129棟、半壊192棟。非住宅被害も100棟をはるかに超えています。

政府の地震調査研究推進本部は、「石狩東部縁断層帯」の30年以内地震発生確率は、ほぼ0%となっています。だからなのか、地震本部は今回の「逆断層」地震は、「この断層帯（活断層）の地震と関連はない」と発表したのでしょうか？

さらに、厚真火力発電が被害を受けて全道的な大規模停電（ブラックアウト）が起きて、日常生活、地域の経済活動に甚大な影響がでました。

大規模停電の原因となった厚真火力  
(しんぶん「赤旗」の写真)



東日本大震災後も国の委員会で「見直しは不要」とされたと説明

### 空前の西日本豪雨

また、8月発生した西日本豪雨は、平成に入って最悪の状況となりました。死者227名

(行方不明者が今も)、床上・床下浸水34、869棟など想像を絶する大災害です。

### 毎年相次ぐ重大災害

大豪雨は、昨年も北九州を襲いました。その前年には、熊本地震、北海道も8月の台風が全道を襲撃、日勝峠の通行止めは、一年以上も続きました。この台風による農漁業被害も甚大なものがありました。

今年の冬には積雪が少ない太平洋の西側で大雪が積もり、農業用ビニールハウスにも大きな被害が発生したのも私たちの記憶に新しいところです。

大地震が何処でいつ起きるのか、本当に科学的に予測するのは可能なのかと疑問視する科学者や研究者もいます。

また、火山学者 研究者も日本列島の活火山の噴火予想は極めて難しいとされ、より正確な予測のためには、膨大な予算も必要とも言われていると思います。

加えて、昨今の地球温暖化。大豪雨、強大台風による猛烈な強風や豪雨、竜巻、真夏の降雪等々。さらに今年の夏には「災害」ともいえる死者まででた「猛暑」も。

### 国を守るという事は？

いま 国を守るという事を改めて考えさせられます。人間の知恵と力だけでどうにも出来ない、自然の驚異。これに人間がどう対応できるのか。そんなときに、北朝鮮、中国の「脅威論」を異常にあり、1基数千億円の「弾道ミサイル」「アーシスアジア」陸上配備型迎撃ミサイル」の配備等々。留まることのない軍拡予算は来年度も。相次ぐ重大災害にこれまでの国の「制度」や従来対応で本当に国が守れるのか。

国を守るという事は、何を守ることなのか。私たちは、よつばと性根を据えていまいかが必要か、人間として何が大事なのか考えたいものです。

### 長い停電の間どう過ごしましたか？

私が一度目を覚ましたのは、あの日の朝4時頃。いつもわが愛猫が外に出せという時間。まだ暗く全所的な停電と判断。室内のマメ電球代わりに外から庭の小さな太陽光パネルで明り取り。しかし、5時を過ぎても回復せず、ラジオニュースで大地震を知る。

### 朝6時過ぎに市役所へ

ラジオニュースで一般 たちを数十軒訪問。翌日のに分かっていたが、行も。初日は、向かいの若夫政への情報はいつもならかなり正確なので、直接で夜を過ごす。夜の星空が「対策本部」を訪問。が、市役所でもラジオ以外の情報がないとのこと。カーナビのテレビで情報収集。経産大臣が「数時で停電解消」と。しかし、厚真火力に損傷あればかなりの長期停電を覚悟。この日は一人暮らし、病弱の人は量は全く適当です。

### 神忠志の勝手気ままな料理教室4

「北広」に住む娘夫婦の所はとも働き家庭。忙しいので娘は簡単で栄養バランスのよい「豚しゃぶサラダ」をよく出します。今日はこれを紹介します。ただし私流にアレンジ

- ① キャベツ千切、玉ねぎスライス、モヤシ、ピーマン千切等この順序で食器の下から重ねる
- ② 豚肉小間切れをしゃぶしゃぶ湯通し
- ③ ①の上に冷やした②を
- ④ 肉の回りにトマトを適当に切り添える
- ⑤ 錦糸卵を肉の上に乗せ
- ⑥ 私ゆずポン酢、妻は玉ネギドレッシングで